

# 浅ノ川総合病院看護部 教育理念と方針

## 浅ノ川総合病院 理念

救急から在宅まで地域の医療を守り支える病院をめざします。

## 浅ノ川総合病院看護部 理念

皆様に心のこもった温かな看護・介護をお届けします。

## 看護部教育理念

地域の医療を守り支える役割を担う看護職員を育成し、看護部の理念に沿った看護観の確立と専門職業人として必要な能力の獲得を目指す。現任教育では当院の役割を認識し、社会情勢の変動や多様なニーズに対応できる看護師の育成を目指す。

## 看護部教育目的

現任教育の充実を図り、看護職員個々の資質の向上と職場の活性化を図る事により看護の質を向上させる。

## 看護部教育方針

特定分野、領域にとらわれず看護・医療のニーズに見合った教育を実施し、看護の質の向上を図る。また良好な人間関係を構築し、周囲から信頼され、礼節を重んじて行動できる看護師となるよう一人ひとりの成長を信じ、支援する。

看護職員個々の目標を尊重し、現有能力の開発・維持・向上のために生涯学習を推進する。また更なるキャリアアップを目指すものに対しては実現に向けて教育環境を提供し支援する。

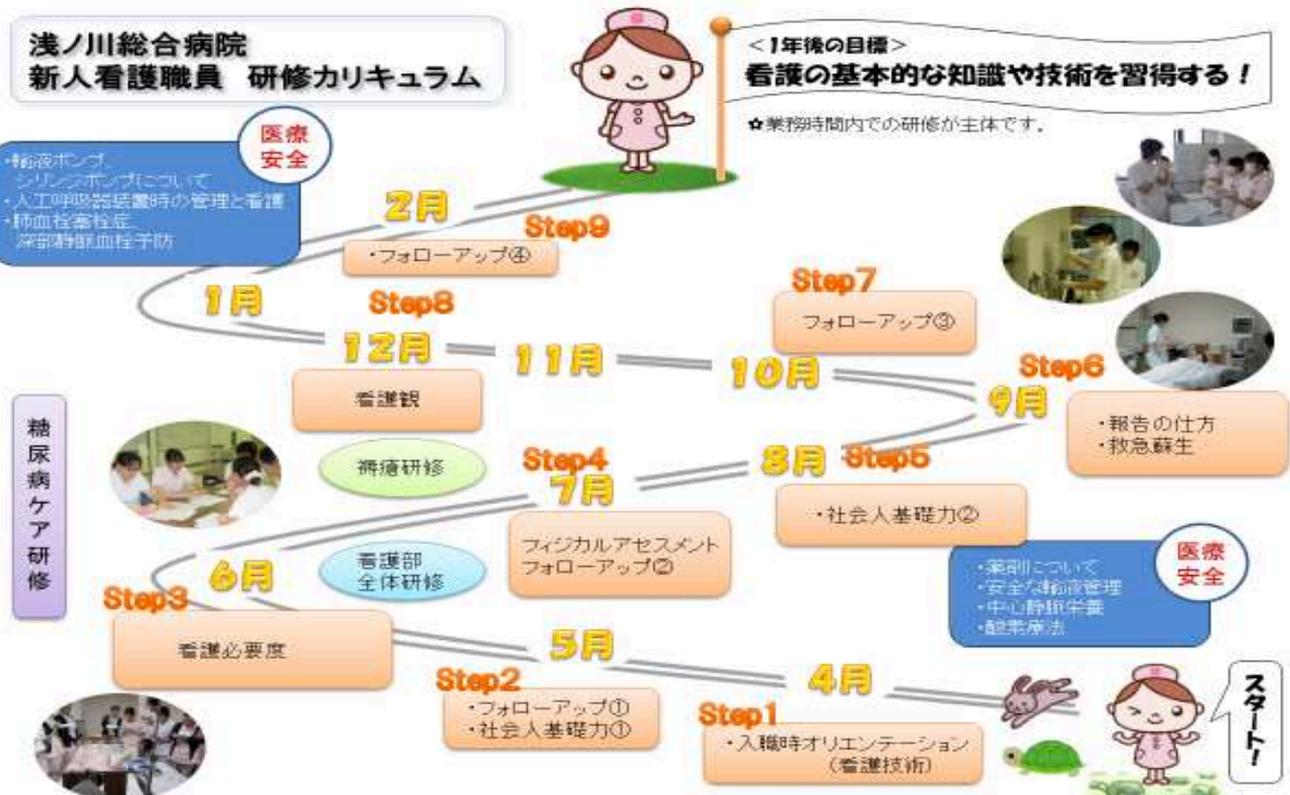
## 目標

- 1) 専門職として判断・行動に責任を持ち高い倫理観を基に看護を実践できる看護師を育成する。
- 2) 高い専門性を基礎とし、状況に応じて主体性・創造性のある看護を提供できる看護師を育成する。
- 3) 組織の一員として看護・医療を効率的・効果的に提供するために状況や役割に応じたリーダーシップを発揮できる看護師を育成する。
- 4) 研究的態度を持って看護を実践しエビデンス構築と発展に関わることができる看護師を育成する。
- 5) 一社会人として職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を持った看護師を育成する。

## 令和8年度 教育研修の企画内容

- ① 新規採用者研修 : 院内研修 入職時 8日間  
 「入職時の研修内容」
  - ・倫理服務規程など：他職種合同 講義など
  - ・看護部の理念・方針 : 講義
  - ・看護職としての心得 : 講義、グループワーク
  - ・安全対策 : 講義、演習 (内服の誤薬)、グループワーク
  - ・院内感染 : 講義、演習 (防護エプロン・マスクの着脱)
  - ・認知症の理解 : 講義
  - ・看護記録 : 講義、電子カルテの入力演習
  - ・看護技術演習
  - ・接遇について (院内研修…関連病院共催)
- ② 看護協会主催新規会員研修 : 院外 1日間
- ③ 院内研究発表会 : 半日

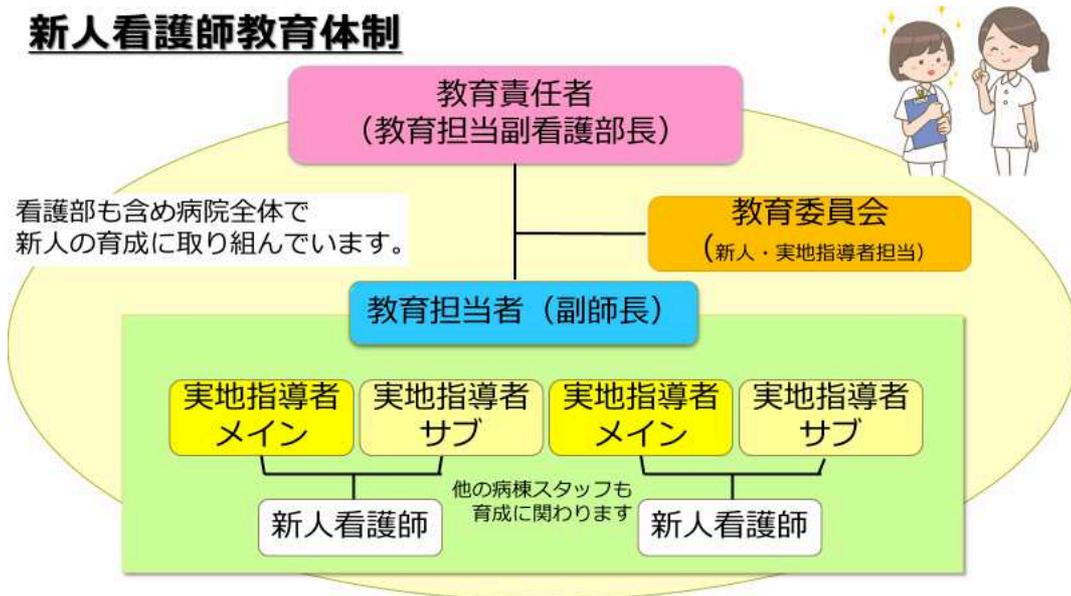
写真: 令和 6、7年度 看護技術演習の様子



## 新人教育体制

- ① 新人看護師 1 名に対して、2 名以上の『実地指導者』を配置します。実地指導者は新人看護師に対して臨床実践に関する実地指導や評価などのサポートを行います。
- ② 各部署の副師長が自部署の新人看護師『教育担当者』となり、現場での新人指導の運営を中心になって行い、新人看護師、実地指導者のサポートやスタッフへのフォローを行います。
- ③ 教育担当副看護部長が『研修責任者』となります。役割は新人研修のプログラムを企画・運営し、『教育担当者』『実地指導者』に指導・助言を行い、新人看護師への教育を支援します。

### 新人看護師教育体制



## 新人看護師と実地指導者、教育担当者との交流会

令和 6、7 年度は金沢市内の散策&動画によるプレゼン大会を開催しました。



## 令和7年度 院内研修

院内各委員会主催研修														
看護職														(月)
対象者	研修名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
実践能力	レベルⅠ 新人	フォローアップ(グループワーク)			●		●			●				●
		フィジカルアセスメント					●							
		救急蘇生						●						
		報告の仕方 夜間や緊急時に備えて						●						
		医療安全		●	●	●	●	●						
		社会人基礎力			●					●				
		看護観											●	
		看護記録								●				
		褥瘡予防:皮膚排泄ケア						●						
		接遇			●									
	レベルⅠ・Ⅱ	メンバーシップ					●				●			
	レベルⅡ	リーダー1				●						●		
	レベルⅢ	リーダー2			●			●						●
		実施指導者研修	●		●		●		●					●
	全レベル 共通	看護観再確認				●							●	
		臨床倫理								●	●	●		
		社会人基礎力								●				
	全ての 看護部職員	看護部の理念と方針			●									
		リフレクション研修					●					●		
アサーション研修												●		
生活習慣病・糖尿病ケア					●	●	●	●	●					
緩和ケア:緩和ケア認定Ns がん性疼痛認定Ns他					●	●		●	●	●			●	
感染対策 適時動画配信も実施します。									●	●	●			

## e-ラーニングシステム

令和5年度より e-ラーニングシステムを導入しました。(ナーシングスキル)

院内でも自宅でも、どこでもスマホやタブレット、パソコンから短時間で繰り返し最新のエビデンスに基づいた看護手順が学べます。また、著名講師陣による様々なレベルに応じたインターネット講義により最新の情報・技術・知識を習得することができます。



## キャリアアップ支援

### ① クリニカルラダー制度（臨床看護実践能力習熟段階）

患者を中心とした看護の質の向上と、看護師のエンカレッジ〈励ます、勇気づける、承認する〉や以下の1)～4)を目的にクリニカルラダー制度を導入しています。

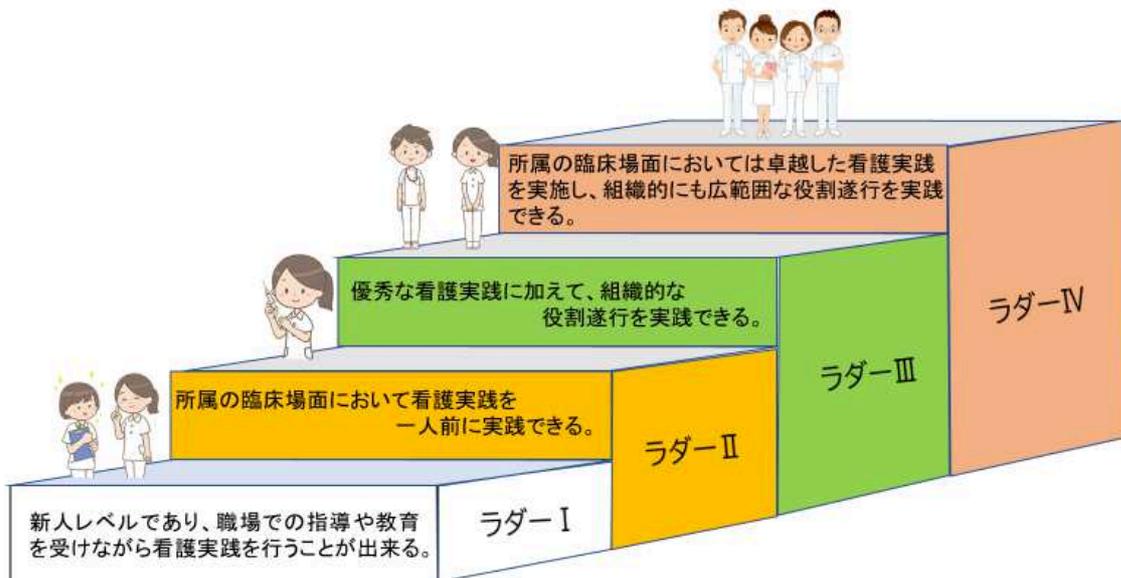
- 1) 看護職員の臨床実践能力を評価し、動機づけにする。
- 2) 看護職員の仕事の満足度を高める。
- 3) 看護職員の個々のキャリア開発に役立てる。
- 4) 自律した看護職員の育成につなげる

レベルⅠ：新人レベルであり、職場での指導や教育を受けながら看護実践を行うことができる。

レベルⅡ：所属の臨床場面において看護実践を一人前に実践できる。

レベルⅢ：優秀な看護実践に加えて、組織的な役割遂行を実践できる。

レベルⅣ：所属の臨床場面においては卓越した看護実践を実施し、組織的にも広範囲な役割遂行を実践できる。



- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ①認定看護師を目指す人      | ： 助成金支給制度あり        |
| ②特定行為研修の受講を希望する人 | ： 助成金支給制度あり        |
| ③その他、学会及び研修会参加   | ： 参加費用などへの補助があります。 |